

さかほぎ青少年育成だより

「大人が変われば…」

青少年育成町民会議 会長 渡辺 英哉

「人生には、いくつのステージがあると思いますか？」ある研修の冒頭で問われました。

ステージ①「教育」②「勤労」③「引退」これまでは3つのステージでとらえられてきたと言えます。でも、「人生100年時代」と言われるようになって久しいです。「予測困難な時代」とも言われます。すでに、誰もが同じような年齢になると働き、同じような年齢で引退して、余生を過ごすという時代ではなくなりつつあるということです。つまり、人生は「マルチステージ」。このような「人生モデルへの転換が進む中、しなやかに『自らの人生を舵取りできる力』が不可欠となりつつある」ということだそうです。

これを「何歳までも働けということなのか」と、とらえるのか、「何度でも学び直してやり直せる」と、とらえるのか。青少年を育てる責任のある私たち大人が、率先して、生き方のアップデートをして見せるときにきているのかもしれません。

「青少年の健全育成」

青少年育成町民会議 運営委員長 丹羽 太

子どもたちが健やかに育つことを願って作られた「県民会議」や「坂祝町青少年育成町民会議」は、おかげさまで発足から50年以上という長い月日が流れました。この間、時代の移り変わりや社会の様子に合わせて、組織や活動も少しずつ形が変わってきました。令和6年度までは「青少年部会」と「家庭部会」の二つに分かれ、親子で楽しめるイベントや、働く大人の姿を学ぶ企業見学などを行ってきました。そして令和7年度からは、この二つの部会を一つにまとめ、「実行部会」としての活動をスタートさせました。

今年度の活動を振り返りますと、6月の「町民の集い」では、坂祝町出身の落語家・柳亭市好さんをお招きしました。会場には、市好さんのこどもの頃をよく知る方々もたくさん駆けつけてくださり、立派に活躍される姿に接する貴重な機会となりました。また8月には、岐阜県博物館の職員に教わりながらの「化石レプリカ作り・取り出し体験」、9月には「ふれあい交流会」、そして1月にはシーキューブさかほぎ農場での「親子でトマト収穫体験・見学」を行いました。どの活動もたくさんの親子連れでにぎわい、参加した子どもたちの笑顔あふれる様子を拝見できたことは、私たちにとっても大きな喜びとなりました。活動を温かく支えてくださった保護者の皆さま、ありがとうございました。

坂祝町には、青少年の健全育成を支えてくださっている組織や団体が数多く存在します。学校と手を取り合って活動するPTA、登下校を見守っている地域学校安全サポートチーム、学校運営を支えるコミュニティスクール。また、ゲームや司会を通して青少年に目標や充実感を伝えているジュニアリーダー活動など、他にも多くの皆さまが力を尽くしています。私たちはこれからも、地域の皆さまと連携を深めながら、町全体で青少年の健全育成に取り組んでいきます。今後とも、変わらぬご協力をお願い申し上げます。

町民会議の活動の様子



あいさつ活動



青少年育成町民の集い



主張作文の発表の様子



親子でトマト収穫体験・見学



親子で化石レプリカ作り・化石取り出し体験講座



ふれあい交流会

令和7年度坂祝町青少年育成町民会議代表者

会長(教育長)	渡辺 英哉
顧問(町長)	伊藤 敬宏



町民会議運営委員会

青少年育成推進指導員、町推進員代表	丹羽 太
スポーツ少年団長、実行部会長	林 重光
自治会長副会長	山岸 直哉
体育協会長	片桐 徹
教育委員	安江 紫乃
社会教育委員代表	浦田 伸司
民生委員児童委員協議会代表	三品 明
スポーツ推進委員長	菅沼 誠嗣
遊々こども園代表	岡崎 まゆり
小学校長	渡邊 謙吾
中学校長	鵜飼 修巳
小学校PTA代表	富成 厚子
中学校PTA代表	石川 紗也加

実行部会

スポーツ少年団長、実行部会長	林 重光
スポーツ推進委員長	菅沼 誠嗣
商工会代表	片桐 徹
保護司代表	高橋 俊道
更生保護女性会代表	金森 紀代子
交通安全協会代表	長村 隆司
青少年育成推進員	酒向 浩行
青少年育成推進員	中島 つゆみ
青少年育成推進員	森 あゆみ
青少年育成推進員	羽上田 隆裕
青少年育成推進員	清水 郁子
青少年育成推進員	足立 雅史
青少年育成推進員	安西 達彦
青少年育成推進員	片桐 美香